大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2023年第48週(11月27日~12月3日)

今週のコメント

~ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎~ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 今後も注意を」

第48週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,758例であり、前週比3.7%増であった。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病、流行性角結膜炎の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ5.20、4.69、2.86、0.52、0.50である。

感染性胃腸炎は前週比3%増の1,024例で、南河内7.69、大阪市南部6.44、大阪市北部6.07、中河内5.85、三島5.63であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は11%増の923例で、大阪市西部8.00、大阪市南部6.11、泉州6.00である。

咽頭結膜熱は5%減の563例で、北河内4.76、中河内4.40、三島4.06であった。

手足口病は15%減の102例で、三島1.38、南河内0.81、堺市0.79である。

流行性角結膜炎は13%増の26例で、南河内2.00、三島0.75、泉州0.67であった。

インフルエンザは10%減の5,366例で、定点あたり報告数は17.54である。中河内21.39、北河内21.24、南河内21.13、大阪市北部20.80、大阪市西部20.13であった。

新型コロナウイルス感染症は13%増の558例で、定点あたり報告数は1.82である。堺市2.59、大阪市北部2.20、泉州・大阪市東部1.91、大阪市南部1.78であった。第46週から3週続いて増加した。

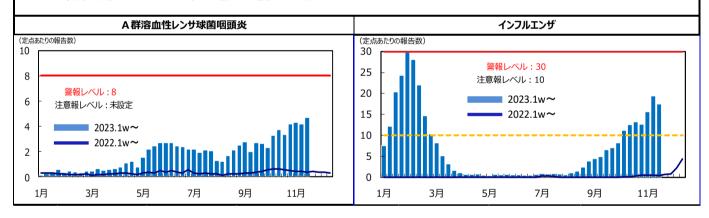


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2023年 第48週11月27日~12月3日)

第48週 の順位	第47週 の順位	感染症	2023年 第48週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2022年 第48週の 定点あたり 報告数	2023年第48週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.20	3%増	3.32	1歳_13%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.69	11%増	0.35	10-14歳_14%
3	3	咽頭結膜熱	2.86	5%減	0.13	3歳_19%
4	4	手足口病	0.52	15%減	0.84	1歳_33%
5	5	流行性角結膜炎	0.50	13%増	0.10	20歳以上_85%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	17.54	10%減	0.37	10-14歳_22%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	1.82	13%増	-	10-19,50-59歳_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。 2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第48週のコメント

腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

〜腸管出血性大腸菌感染症〜 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症 腸管出血性大腸菌感染症 腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産 大阪府年別累積報告数 生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、 250 ____ 2019 O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんど •••• 2020 で、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場 • 2021 200 **-** 2022 合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻 **2**023 回の水様便の後に、血便となる(出血性大腸炎)。発 150 積 熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%で 報 告 は、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒 100 数 症症候群を発症する。初夏~初秋において、腸管出血 性大腸菌感染症の報告が増加するが、2023年は秋以 50 降も報告数が多いことから、引き続き注意が必要である。 腸管出血性大腸菌O&A(厚生労働省)

表 2. 大阪府全数報告数(2023年 第48週11月27日~12月3日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数府内累積
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11		1						10	210
	E型肝炎	1				1					10
4類感染症	デング熱	3							1	2	19
	レジオネラ症(肺炎型)	1								1	127
	アメーバ赤痢	1								1	47
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2								2	48
	後天性免疫不全症候群	1								1	66
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1	48
3 規恩采加	侵襲性肺炎球菌感染症	2						1		1	144
	梅毒	20	2			1				17	1,838
	播種性クリプトコックス症	1			1						7
	百日咳	1					1				43
 結核	結核 新登録患者数:96名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 29名)										
(2023年10月分) (府内累積報告数 936名、内 肺・喀痰塗抹陽性 318名)											